****彩の国中学生高齢者施設でのふれあい体験事業【優秀賞】

**「特別養護老人ホームさくら苑で学んだこと」**

北本市立北本中学校　二年　　福永　隆太

「緊張するなぁ」

　僕は、実習先の特別養護老人ホームさくら苑に向かう途中、少し不安になって緊張していました。僕は、北本中学校キャリア・チャレンジの実習生として、「さくら苑」で実習することに決まりました。僕らの班は合わせて三人です。

　さくら苑に行く途中、「本当に三日間ちゃんとやり遂げられるかなぁ。心配だなぁ」と不安に思っていました。僕がそんなことをつぶやくと、仲間の一人が、「大丈夫だよ」と明るく声をかけてくれました。そのおかげで、さくら苑に着いた時には、「何としてでも、この三日間やり遂げるぞ」という気持ちになっていました。さくら苑の中に入ると、職員の方々が快く迎えてくださり、僕たちは三人揃って挨拶をしました。

　実習が始まると最初に、担当の職員さんから「利用者さんとコミュニケーションをとって下さい」と言われました。僕たちは緊張しながらもどんどん利用者さんにあいさつをしていきました。思っていたよりも全然上手くいかず落ち込んでしまいました。すると、一人の女性の方が「おはよう」と返してくださいました。突然あいさつが返ってきたので驚きました。その方は「頑張ってね」と言ってその場を離れていきました。沈んでいた気持ちがスカッと晴れました。

　次に、実習の中で一番大変だったリネン交換をしました。指示を受けながらどんどんやっていくうちに疲れが出てきて、汗もいっぱいかきました。それから、利用者さんの昼食の配膳を手伝いました。これらのことを三日間、一生懸命がんばりました。

　最終日には、ひとりの利用者さんに「もう行っちゃうの？」と名残惜しそうに言われとても嬉しかったです。高齢者の方々の心優しいところを感じる三日間でした。

****